

NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会 公益社団法人 大阪自然環境保全協会 共催

「夢洲の生きものの保全」講演会のご案内

NACS-J 自然観察指導員大阪連絡会（NACS-J 大阪連絡会）は、今年で結成 30 周年を迎えます。この記念すべき年の 12 月には大阪で自然観察指導員講習会を計画しています。

そして、これにつながる様に、10 月には、現在、夢洲で準備が進められている大阪・関西万博に関連する「夢洲の生きものの保全」をテーマにした講習会を開催して、足元の大阪における「自然保護に関わる問題」について認識を深め、必要な行動等についての展開に結び付けて行きたいと考えています。

今回は、この問題について特に熱心に取り組まれている公益社団法人 大阪自然環境保全協会（ネイチャーおおさか）と、これに支援を頂いている公益社団法人 日本自然保護協会（NACS-J）から講師をお招きして話題提供を頂き、論議をさせていただきます。

なお、夢洲に関しては、日本野鳥の会大阪支部も、大阪自然史フェスティバル（大阪市立自然史博物館で 11/19-20 で開催）において、11/20 にシンポジウム「夢洲・大阪湾岸の水鳥の渡来環境の保全・回復を目指して」を計画されており、合わせまして夢洲の生きものへの関心を高めて行きたいと思えます。

日時：2022 年 10 月 16 日（日）14 時～16 時 20 分（会場 17 時まで）

会場：ドーンセンター大阪・特別会議室（100 名近く入場可能。コロナ禍を見据え、広い部屋にしました。）



大阪府大阪市中央区大手前 1 丁目 3 - 4 9（地図の矢印⇒の場所）

- ・京阪「天満橋」駅、Osaka Metro 谷町線「天満橋」駅 ①番出入口から東へ約 350m。
- ・JR 東西線「大阪城北詰」駅下車。②号出口より土佐堀通り沿いに西へ約 550m。

当日のタイムスケジュール（オンライン参加も可能）

14:00	開会
14:05	公益社団法人 大阪自然環境保全協会 会長「夏原由博さん」 講演「ネイチャーおおさかの取組み（仮題）」
15:00	公益財団法人 日本自然保護協会 保護教育部長「大野正人さん」 講演「東京からの支援（仮題）」
15:20	休憩
15:30	質疑応答含めた討論会
16:00	NACS-J 大阪連絡会の情報提供
16:20	閉会

問合せ・申込先：NACS-J 大阪連絡会・行事担当：垣井清澄（osaka30ya@jinenjo.org）

講演会の背景

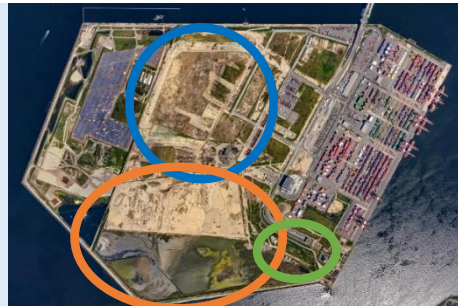
- ・夢洲は大阪府レッドリスト2014において生物多様性ホットスポットAランクに指定されています。
- ・しかし、大阪・関西万博、そしてIRの誘致が決まって、この生きもの環境が損なわれて来ています。
- ・**ネイチャーおおさか**では、この夢洲の生きもの保全のために、これまで生きもの調査、要望書の提出、提言等、色々な活動を展開されています。夏原さまからは、こうした**ネイチャーおおさか**の、これまでの取り組みについて、ご講演を頂きます。
- ・**NACS-J**では、こうした大阪での自然保護に関して、東京の他の団体と一緒に、支援を頂いています。そうしたお立場からの、これからの保全の展望等について、大野さまから、ご講演頂きます。
- ・なお、私たち**NACS-J大阪連絡会**も、こうした動きについては、情報提供や協力に努めて来ましたが、この機会に、私たちが今後とも関わって行ける内容等について、考えて行きたいと思います。



夢洲は、南港野鳥園ともに、「生物多様性ホットスポット」に指定され、「大阪市生物多様性戦略」では、ここを保全することが、施策として掲げられています。(出典：「大阪府レッドリスト2014」等)



2018年・航空写真



2021年・航空写真



大阪・関西万博の会場計画



2022年度の大阪港湾局・地盤改良工事計画

こうした夢洲の万博やIRに向けての埋立てや地盤改良工事等の状況です。

青い線で囲われた場所（上）には、淡水池が広がり、カモ類の憩いの場所となっていました。橙の線で囲われた場所（下・左）は、塩水湿地で、シギ・チドリ類などの多くの渡り鳥が飛来し、セイタカシギの繁殖も確認されています。緑の線で囲われた場所（下・右）にはヨシ原が広がっており、貴重な水草も再生していました。

こうした現状を認識して、夢洲の生きもの保全について考えます。(出典：「大阪港湾局・航空写真」等)